

信州大学医学部附属病院 産婦人科に
 通院中または過去に通院・入院された患者様または
 ご家族またはご遺族の方へ
 当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年7月4日

「我が国における子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の現状に関する調査研究」に関する
 臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4078
研究課題名	我が国における子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の現状に関する調査研究
所属(診療科等)	産婦人科
研究責任者(職名)	小原久典(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2018年12月31日
研究の意義、目的	子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の臨床像、治療実態、予後並びに予後因子を明らかにすることを目的とした研究です。
対象となる患者さん	1997年4月1日から2017年3月31日の期間に当院で子宮および卵巣原発の悪性黒色腫について医療を受けられた方。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／血液、組織など。
他機関への試料・情報の提供方法	「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の「第5章／第12 インフォームド・コンセントを受ける手続等」に基づき、以下の通り記録を作成・保管する。 ①提供先の機関名:大分大学(研究責任者:奈須家栄) ②提供を行う試料・情報:診療記録、検査データ、病理標本(HE染色、免疫組織化学、未染色) ③提供方法:郵送 試料・情報の提供に関する記録として、本研究実施計画書及び主任施設で承認された研究実施計画書等、必要事項を記載した書類を研究終了後5年間保管する。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、病理標本(HE染色、免疫染色、未染色)、症例調査票及び病理報告書を集積します。

共同研究機関名	大分大学(責任者:奈須家栄) 埼玉医科大学国際医療センター(責任者:矢野光剛) 静岡がんセンター(責任者:平嶋泰之) 大阪市立総合医療センター(責任者:徳山治) 京都府立医科大学(責任者:黒星晴夫) 伊勢赤十字病院(責任者:山脇孝晴) 山梨大学(責任者:大森真紀子) 神戸大学(責任者:若橋宣) 和歌山県立医科大学(責任者:野口智子) 京都第一赤十字病院(責任者:大久保智治) 静岡病院(責任者:水野薫子) 高槻病院(責任者:大石哲也) 鳴門病院(責任者:漆川敬治) 北海道大学(責任者:渡利英道) 東邦大学医療センター佐倉病院(責任者:木下俊彦) 鳥取県立厚生病院(責任者:大野原良昌) 倉敷中央病院(責任者:中堀隆) 近畿大学(責任者:飛梅孝子) 東京大学(責任者:宮坂亜希) 群馬大学(責任者:日下田大輔) 日本大学(責任者:仲尾岳大) 横浜市立大学(責任者:宮城悦子) 横浜市立市民病院(責任者:茂田博行) 高知医療センター(責任者:國見祐輔) 筑波大学(責任者:櫻井学) 神奈川県立がんセンター(責任者:内山亜弥) 信州大学(責任者:小原久典) 新潟大学(責任者:西野幸治)
研究代表者	主任施設の名称:大分大学医学部産婦人科 研究責任者:奈須家栄
問い合わせ先	氏名(所属・職名):小原久典(信州大学産婦人科・助教) 電話:0263-37-2719

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である**大分大学**に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場

合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。